

■みなとみらい24街区TRY90工区 給排水計画

1、給水引込径の計画

最大給水量は山留工事（SMW連壁工事とアースアンカー工事）で使用する水量が最大となるが、引き込み径はなるべく小さく抑えるよう計画する。今回 TRY90工区の計画はSMW掘削機がピーク時5セットとアースアンカー工事が一部重なるため、最大時の使用推定水量が約400m³/日を大幅に超える見通しとなったため、引き込み径は100φ（最大供給量360m³/日）とし、足りなくなる分は20 t 水槽を増やし夜間貯留することと、三菱地所工区から給水支援を受けることで計画した。

2、場内給水施設計画

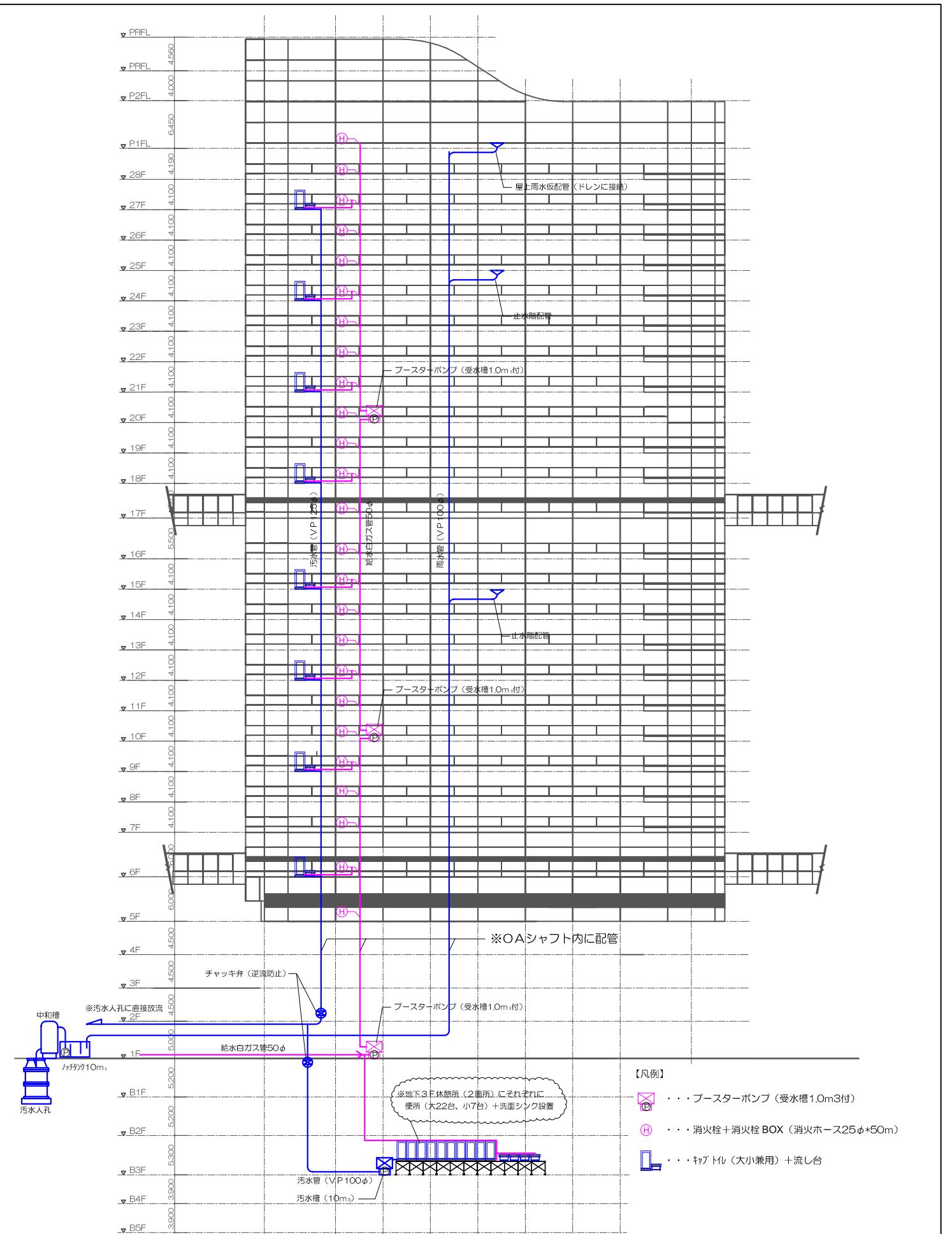
給水引き込み口から敷地内全周に給水配管（鋼管100φ）を敷設し、各工区（建物毎）に枝配管（25φ～50φ）をする。特に、各高層棟の高層階への給水供給は10フロアを基準にブースターポンプ（50φ・3.7kw 水槽1m³）を設置し、最上階まで揚水出来るように計画する。また、高層階への各配管類（給水・排水管共）はタワーB・C棟はOAシャフト内に、ホテル棟は各階リネン室にダメ穴を設け配管する。

3、場内排水施設計画

地下階排水はポンプ揚水方式とし、地上階排水は自然降下方式で計画する。放流先は全て污水本管へ排水する計画で、現場の工事用排水と雨水は敷地内4箇所にノッチタンク10m³と中和槽をセットに設置し、宅内人孔から污水本管へ排水する。生活污水（便所、手洗い）排水は別途配管とし、高層階からの排水は直接污水人孔へ放流する計画で地下階は污水槽を設置し、ポンプ排水で計画する。

4、防火管理施設計画

大規模な建築建物の場合、施工中であっても消防署の防火管理の指導を受ける場合がある。防火管理施設の計画として、高層棟（B・C・ホテル棟）には各階に消火栓を設置、専用ホース25φと粉末消火器10型を地下及び低層部にも粉末消火器10型を各所に配置し、初期消火に対応出来る計画とする。



訂正事項	保留事項

（株）三石設備コンサルタント

工事名	(仮称) みなとみらい21中央地区 24街区新築工事TRY90工区	図面番号	整理番号
図面名	タワーB棟 給排水計画図	縮尺	日付製図 平成6年4月K.S